



九州大学病院における 働き方改革に関する取り組み

2024年1月16日（火）

九州大学病院 病院長 中村 雅史

本日の講演概要

- 九州大学病院の紹介
- 医師の働き方改革に向けた取組状況
- タスク・シフト／シェアの取組状況
- 九州大学病院きらめきプロジェクトの紹介

九州大学病院の紹介

- ・ 病床数 1,267床（一般1182床、精神85床）
- ・ 病床機能 高度急性期
- ・ 患者数 外来のべ患者数762,292名/年(1日当たり3,137名)
入院のべ患者数346,364名/年(1日当たり949名)
- ・ 手術件数 10,860件/年（※令和4年度実績）
- ・ 救急搬送件数 2,223件/年（※令和4年度実績）
- ・ 医師数 712名（うち、変形労働時間制598名）



（令和5年4月1日現在(※を除く)）

医師の働き方改革に向けた取組状況 (組織)

勤務環境改善委員会

勤務環境改善に関する事項を審議

病院長、副病院長、薬剤部長、医療技術部長、看護部長、事務部長などで構成

医師の働き方改革検討WG

医師の働き方改革に関する諸課題への対応

インターバル

時短計画

面接指導

勤怠管理



副病院長、各診療科医局長などで構成

負担軽減WG

医師の業務負担軽減に関する対応

ICTの活用

タスク・シフト/シェア



副病院長、医師、歯科医師、コメディカルなどで構成

医師の働き方改革に向けた取組状況 (勤怠管理 主な4つの対応)

- ①客観的勤怠管理システムとして、新たにDr.JOYを導入。
⇒令和4年度より本運用開始、給与システムとの連携開始。
- ②医師の業務と研鑽にかかる区分表を作成。
⇒全国医学部長病院長会議作成「大学病院医師の労働と研鑽に関する考え方について」をベースとし、九大病院の業務内容を反映したものを独自に作成。
- ③複数の勤務時間帯を導入。
⇒九大病院での所定労働時間（週38時間45分）を確保しつつ、週の勤務のうち、早出や遅出、勤務時間の長短などを組み合わせることによって外勤日が確保できるよう、複数の勤務時間帯を設定し、外勤による地域医療体制も確保。
- ④医員(年俸制(月給払い))制度を導入。
⇒週31時間勤務者(週4日×7時間45分)を、週38時間45分勤務者へと切り替え、上記③を適用可能とした。

医師の働き方改革に向けた取組状況 (勤怠管理：①客観的な勤怠管理)

課題

- ・勤務時間は、医師自身の自己申告（エクセル記帳）でのみ把握
- ・兼業は教員のみ許可申請手続きを行っているが、実績時間の管理は出来ていない



対応：勤怠管理システム「Dr.JOY」の導入



以下の対応が可能に！

★出勤退勤時間の自動打刻

→客観的な勤務時間の把握

→実績に基づいた給与支給

★兼業も含めた時間外労働時間の管理

★追加的健康確保措置への対応



医師の働き方改革に向けた取組状況 (勤怠管理：Dr.JOYの導入に向けて【苦労話】)

①



受信機からクラウドへのデータ送信に、院内ネットワークは使用不可です…

全ての設置予定場所で電波調査を実施！
4G電波が繋がる場所に受信機を設置し、
受信機は4G回線でクラウドと通信するよう
に設定しました！



③



出退勤打刻、残業・研鑽振り分け申請、承認作業、
外勤時間の登録…新しくやることが多すぎる！

事務専任係の創設、操作説明会の開催、WG
を通じた周知、マニュアル作成、残業時間が
多い診療科への執行部ヒアリングなどを実施
します！



②



受信機用の電源が確保できない…

工事期間1ヵ月かけて院内電源を確保！



④



Dr.JOYからのデータだけでは、九州大学
給与システムとの連携が不十分…

業者を選定し、Dr.JOYと給与システムとの
連携を行うシステムを新たに開発！



医師の働き方改革に向けた取組状況 (勤怠管理：②医師の業務と研鑽にかかる区分表 (抜粋))

業務	研鑽
診療	診療
教育	教育
研究	研究

業務

(診療)

- ・患者のために行う全ての医療行為
- ・出席を命じられたカンファレンス

(教育)

- ・原則、所定労働時間内に行う
- ・電子カルテ閲覧が必要となる講義準備や試験問題作成

(研究)

- ・原則、所定労働時間内に行う

研鑽

(診療)

- ・医師のスキルアップ目的の手技トレーニング
- ・出席が任意のカンファレンス

(教育)

- ・診療業務とは別の臨床研究に係るデータ整理

(研究)

- ・学会や外部勉強会への参加・発表

医師の働き方改革に向けた取組状況 (勤怠管理：③複数の勤務時間帯導入)

新たな勤務時間管理等の導入イメージ



【ポイント】

- ①業務の繁閑に応じ柔軟な勤務時間を設定
- ②地域医療提供体制を確保

タスク・シフト／シェアの取組状況

● 医師事務作業補助者の活用

人員数：79名（R5.10現在）

返書や診断書の下書き、返書管理、インフォームドコンセントの準備等を実施、診療録の代行入力、入院説明、検査説明等を実施

医師事務作業
補助者の活用

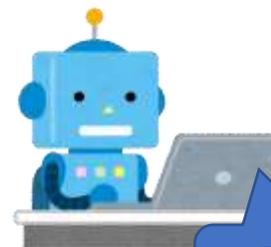


● ICTの活用

① 説明、指導等に動画の活用

入退院・周術期支援センターなどで、タブレットを使用して、麻酔などの説明を動画にて実施

タブレットを用
いた患者説明



RPAによる
業務効率化

② RPAの推進 R2.11導入（BizRobo!）

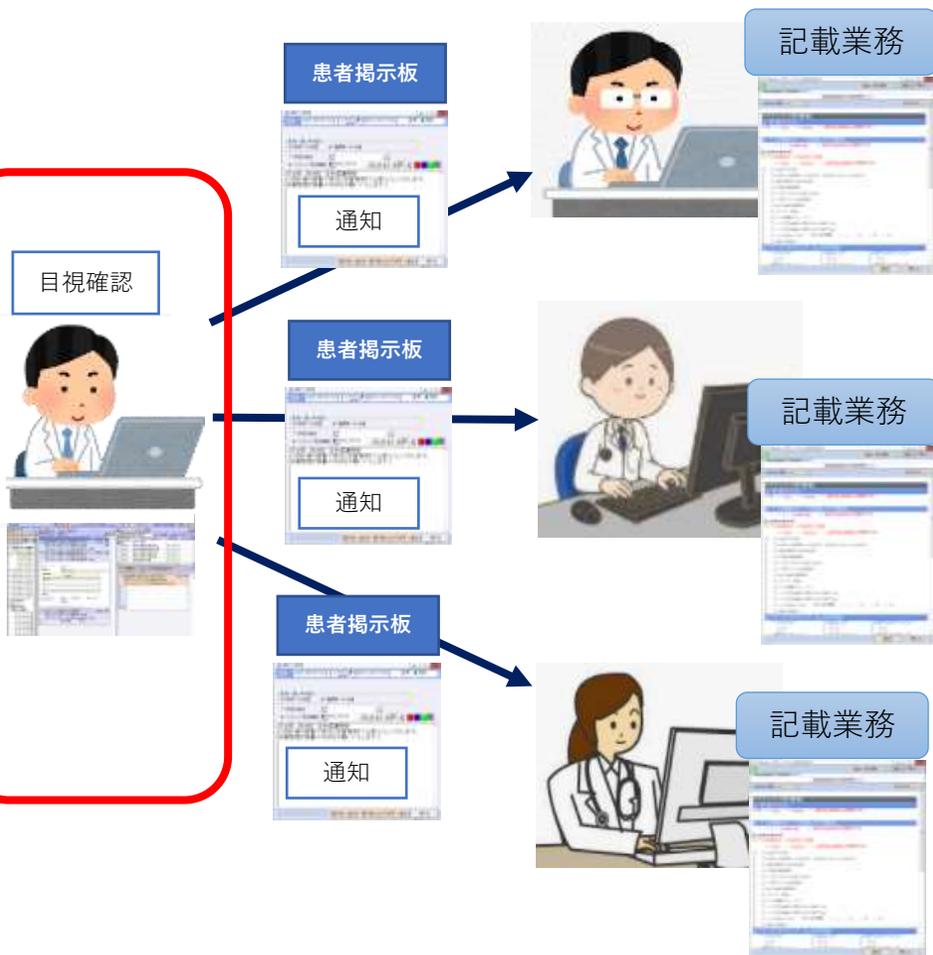
医師の負担軽減はもちろん、多職種の業務を支援することによりタスクシフト可能な環境づくりを目指す

※医療従事者の電子カルテ操作時間の縮減とともに、医療安全の担保、病院収入増加も期待

（例）1）肺血栓塞栓症予防管理督促 2）放射線レポート未読管理督促 など

ORPA：肺血栓塞栓症予防管理督促の運用イメージ

ロボット稼働前



ロボット稼働後



ORPA：肺血栓塞栓症予防管理督促結果の総括

項目	内容
ロボット稼働開始時期	2021年8月～現在も稼働中
業務時間（月平均） ロボット稼働前 / ロボット稼働後	122 時間 / 0 時間
本件数（月平均） ロボット稼働前 / ロボット稼働後	924 件 / 1,680 件

九州大学病院臨床教育研修センター きらめきプロジェクト

●臨床教育研修センターきらめきプロジェクトとは

臨床教育研修センターきらめきプロジェクトは、出産・育児・介護・自身の病気等、さまざまな理由により常勤での勤務が困難な医師・歯科医師に対し、キャリアの継続・復職支援を行っています。

新しい時代に向けてより良い医療を築き上げるために、性別を問わず、すべての医療人が十分な能力を発揮し、働くことができることを目指しています。

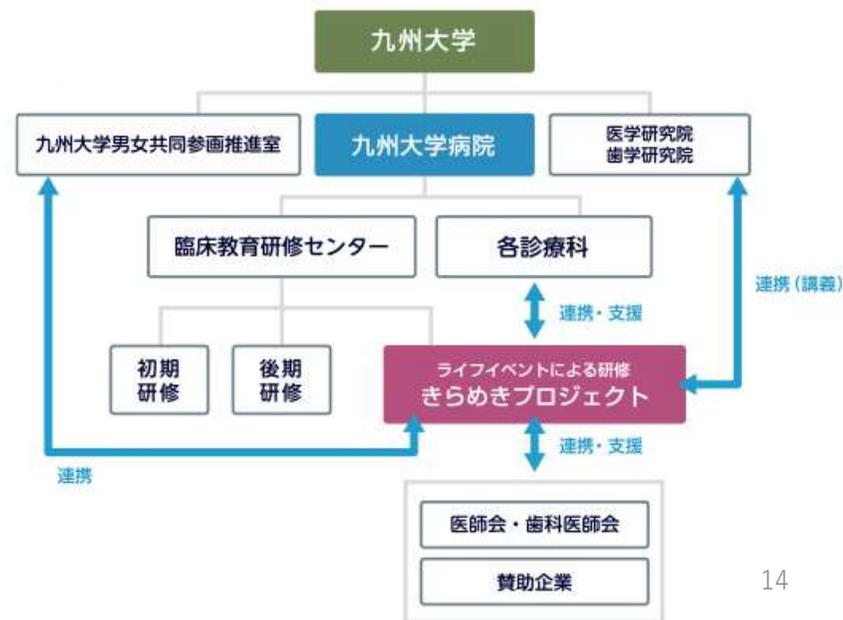




九州大学病院臨床教育研修センター きらめきプロジェクト

●きらめきプロジェクトの変遷

- ・2007年 9月～
文部科学省大学改革推進事業「女性医療人きらめきプロジェクト」として発足。
- ・2010年 4月～
九州大学病院独自の予算で「きらめきプロジェクトキャリア支援センター」として引き継がれる。
- ・2019年11月～
事業の恒常化を図るため、研修プログラムのひとつとして本院臨床教育研修センターに組み入れられ、活動を続けている。



九州大学病院臨床教育研修センター きらめきプロジェクト

●きらめきプロジェクトの取り組み

- ①常勤復帰を前提としたスキル継続のための専門性に応じた非常勤勤務制度
(非常勤勤務の医師・歯科医師として、性別を問わず、九州大学病院の各診療科の外来や検査室で専門性を生かして勤務)
- ②定期的に行なわれるスタッフミーティングによるスタッフの交流
- ③講演会・学生交流会・スタッフ発表会などによる啓発と周知活動
- ④スタッフの教育学習支援のためのeラーニング教材の配信
- ⑤ホームページ・きらめき通信(隔月発行)・報告書(年1回発行)による情報発信
- ⑥医学部・歯学部生に対する性差医学や医療人としてのプロフェッション教育
- ⑦他大学・基幹病院・近隣の医療機関との連携
- ⑧福岡県医師会・歯科医師会・企業などの支援組織との連携

九州大学病院臨床教育研修センター きらめきプロジェクト

●年度別在籍者数（延べ人数）

	医科	歯科	在籍者数 合計
2007年度	2	0	2
2008年度	9	8	17
2009年度	9	7	16
2010年度	9	4	13
2011年度	11	7	18
2012年度	12	7	19
2013年度	12	6	18
2014年度	17	10	27
2015年度	15	12	27
2016年度	14	11	25
2017年度	19	9	28
2018年度	17	9	26
2019年度	18	5	23
2020年度	22	2	24
2021年度	18	4	22
2022年度	18	3	21
2023年度	13	6	19
合計	235	110	345

(内 男性 2名)

●退職後の状況

	医科	歯科	合計
常勤 (内 開業)	42 (8)	8 (9)	50 (17)
非常勤	28	18	46
産休・育休	12	2	14
海外	3	1	4
大学院	4	0	4
その他	3	1	4
合計	92	30	122

(退職時アンケート回答による)

●所属時の研究実績

	医科	歯科	合計	全対比
博士号取得	9	4	13	8.4%
認定医・専門医 取得	53	12	65	41.9%
認定医・専門医 更新	23	4	27	17.4%



ご清聴
ありがとうございました

